

武雄高校だより

令和2年3月11日発行 第208号

発行者 佐賀県立武雄高等学校

TEL : 0954-22-3103

FAX : 0954-20-1010

URL : <http://www.education.saga.jp/hp/takkeokoukou>



● 武雄高等学校 第11回卒業証書授与式 ●

3月1日(日)に第11回卒業証書授与式が行われ、3年生229名が卒業しました。卒業生の凛とした表情からは、今後生きていく激動の社会の中でもたくましく自己実現を成していく姿が見てとれるようでした。短縮された中での式でしたが、生涯の思い出に残る、素晴らしいものになったことと思います。裏面には卒業生代表として答辞を述べた松浦佐紀さんの言葉が載っていますので、ご覧ください。



● 2年生修学旅行 ●

1月21日(火)～24日(金)に、3泊4日の修学旅行がありました。日頃体験できない雪国の自然に親しみ、スキー研修を通して心身を鍛えました。また、最終日には都内自由散策を通して、関東・中越地方の歴史や文化について理解を深めることができました。4日間、学年・学級の仲間と集団生活を共にすることで、協調性や自主性を高めることができましたと思います。

行程表

1月21日(火)	出発→東京スカイツリー見学 →宿泊地(新潟県南魚沼郡)
1月22日(水)	スキー研修
1月23日(木)	スキー研修
1月24日(金)	都内自由散策→到着

今後の主な予定

- 3月
- 20日(金) 春分の日
- 24日(火) 修了式、退任式
- 4月
- 2日(木) 物品販売
- 3日(金) 新クラス発表
- 6日(月) 始業式、新任式、クラス写真撮影
- 7日(火) アチーブテスト、2年生授業開始
- 8日(水) 入学式
- 9日(木) 対面式、1年学力診断テスト
アチーブテスト(3年)



答辞

長かった冬もようやく終わりを告げて、窓から差し込む陽が柔らかな温かさを帯び始めたこのよき日に、私たち第十一回卒業生のために、このように盛大な式を挙げていただき、誠にありがとうございます。ご来賓の皆様、保護者の皆様、先生方に見守られながら、本日、こうして卒業の日を迎えられたことを心から嬉しく思います。

三年前の春、私たちは新入生として、期待と不安を胸に抱きながら、武高坂を上りました。武高坂に咲き乱れる桜、その花びらは春風に揺れ、私たちを歓迎しているように見えました。そして、私たちは、今日と同じように温かい拍手に迎えられ、この場に立ちました。

あの日から始まった高校生活で、私たちは勉強だけでなく、部活動や学校行事、校外活動など様々なことに取り組み、大きく成長したことを実感しています。昨年の豪雨災害では、地域の方々をはじめとする多くの人々と協力し合うなかで、改めて人と人とのつながりの温かさや大切さも感じました。「質実剛健」「報恩感謝」の精神のもと、仲間と過ごしたこの三年間はかけがえのない思い出です。

今日、卒業の日を迎えた私たちの心の中は、多くの方々への感謝のおもいであふれています。

まず、三年生のみんな。三年間の様々な日々をともに過ごしてきました。新しい友をつかった開校記念遠足、一面雪景色の中スキーを楽しみ、多くのことを語り合った修学旅行、そして、武陵祭。応援リーダーの構成や衣装など多くの変更点があり、不安だらけでしたが、何としてでも最高の武陵祭をつくり上げようと皆で真剣に考え、協力しました。意見が衝突したり、うまくいかなかったりすることもありましたが、だからこそ、すべてをやり遂げ、武陵祭が成功したとき、今まで感じたことのないような大きな達成感を味わい、仲間の存在の大きさを改めて感じる事ができました。三年間、本当にありがとう。そして、在校生の皆さん。今日はこの場を共にすることができませんでしたが、皆さんに伝えたい言葉があります。皆さんは、どんな時も私たちを信じ、ついてきてくれました。笑顔で駆け寄り、「先輩、こんにちは」と挨拶をしてくれたこと、武陵祭のときに学年という壁を越え、一致団結して頑張ったこと、皆さんとの思い出は今も色鮮やかに私たち一人一人の心に残っています。今まで、本当にありがとう。これからは、皆さんが武雄高校を担う番です。つらい時にも同じ目標へ向かう仲間と、それをサポートしてくれる先生方がいることを忘れずに、今の時期しかできないことを精一杯やり遂げてください。また、武雄高校は、地域とのつながりが非常に強い高校です。これからも、地域を愛し、地域から愛される武雄高校生としての皆さんのさらなる活躍を期待しています。

また、多くの悩みや困難に直面した私たちを支えてくださった先生方。私たち一人一人が納得のいく進路実現をすることができるように、寝る間も惜しんで私たちのために尽力してくださったこと、本当に感謝しています。センター試験前日には、「合格を信じて人事を尽くせ」「Do my average」など温かい激励のおかげで自信をもつことができました。試験当日には、学年主任の松口先生とともに、拳を高く上げながら大きな声を出したことで、緊張でこわばっていた心身をほぐすことができました。これまでの心を尽くしたご指導、本当にありがとうございます。

そして、一番身近で最も私たちのことを思ってくれたお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん。毎日の食事から、心身の健康管理まで、私たちのことをとても大事に思い、応援してくれてありがとう。様々な困難にくじけそうになった時、私たちに寄り添い、背中を押してくれてありがとう。言葉に言い尽くせない感謝のきもちでいっぱいです。これからも私たちの心の支えでいてください。

さて、今、世界は、地球温暖化や他国との関係のあり方など、先の見えない不安に覆われています。そんな中、多くの若者が、自国だけでなく世界や未来を見据えて、様々な問題に対して声を上げ、明るい未来を築こうと努力しています。以前は、自分や周囲のことを考えるだけで精一杯だった私たちも、この三年間を通して、世界に目を向け、自分たちが将来すべきことを真剣に考えるようになりました。これから私たちは、この武雄高校で得た豊富な知識と広い視野、様々な経験を生かし、仲間と協力しながら、令和という新しい時代の担い手となって、地域社会・国際社会のために尽力します。

最後になりましたが、これからの武雄高校のさらなる発展をお祈り申し上げて、答辞の言葉といたします。

令和二年三月一日

卒業生代表 松浦 佐紀